

CASBEE®-建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2014(v.2.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)サンメゾン九大学研都市プロジェクト	階数	地上12F
建設地	福岡県福岡市西区周船寺3丁目1番	構造	RC造
用途地域	準工業地域	平均居住人員	406 人
気候区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2017年3月 予定	評価の実施日	2014年10月9日
敷地面積	4,837 m ²	作成者	株式会社サンユニオン一級建築士事務所 清
建築面積	1,287 m ²	確認日	2014年10月19日
延床面積	11,224 m ²	確認者	株式会社サンユニオン一級建築士事務所 清



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
<p>BEE = 1.5 ★★★★★☆</p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★</p>	<p>☆☆☆☆☆</p> <p>標準計算</p> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです</p>	

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
<p>Q 環境品質 Qのスコア = 3.1</p>		
<p>Q1 室内環境 Q1のスコア = 3.7</p>	<p>Q2 サービス性能 Q2のスコア = 3.0</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 2.2</p>
<p>LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.6</p>		
<p>LR1 エネルギー LR1のスコア = 4.4</p>	<p>LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 2.7</p>	<p>LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 3.4</p>

3 設計上の配慮事項		
<p>総合</p> <p>ペアガラス・断熱補強、オール電化を採用することで、省エネ住宅となるように配慮した。</p>	<p>その他</p> <p>0</p>	
<p>Q1 室内環境</p> <p>ペアガラスの採用や屋根・壁・床に十分な断熱をするなど、建物の熱負荷低減に配慮した。</p>	<p>Q2 サービス性能</p> <p>ゆとりのある階高・天井高とし、フレキシビリティ性の向上に配慮した。</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内)</p> <p>周辺の住宅地に配慮した計画とした。周辺の自然と調和した緑化空間を形成した。</p>
<p>LR1 エネルギー</p> <p>高効率な機器を採用し、エネルギーの削減を図った。</p>	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>住戸部分にはGL工法を採用し、維持管理の効率化に努めた。</p>	<p>LR3 敷地外環境</p> <p>隣地とは十分な距離を確保することで、周辺環境の妨げとならないように配慮した。</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される